

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2022 年 7 月 21 日開催分)

開催年月日： 2022 年 7 月 21 日(木) 11:00~13:00

開催場所： オンライン開催

委員の出席： 番組審議員 6名

WOWOW プラス 7名

出席者

〔審議員〕青木真弥、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏（以上 50 音順、敬称略）

〔放送事業者〕大熊和彦、廣田敦、富田純代、青木昭、高木慶、伊藤里沙
渋谷明子(記)

欠席者

〔審議員〕池ノ辺直子（敬称略）

議題： (1) 2022 年 4 月～6 月の WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) WOWOW プラスの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2022 年 4 月～6 月における WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社コンテンツプロデュース局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： 〔審議番組〕

『Thunderbolt Fantasy 生死一剣 【副音声コメンタリー付き】』

<番組概要>

虚淵玄が原案・脚本・総監修を務め、台湾の伝統芸能“布袋劇”とコラボレーションした奇跡の映像企画の劇場版第 1 作を、声を務めた人気声優ら豪華ゲストによるコメンタリーと共にお送りする特別企画。

審議内容： ■審議員意見

・映画本編と副音声と同時に聞こえるため、内容が分からなかったため、サンプルは、本編のみとコメンタリー付きのそれぞれを提供して欲しい。

・ストーリーが理解しづらかったので、冒頭で触れた方が良かった。副音声は、作品への興味がわく内容だった。映画ラストのメイキングシーンが良かったので、メイキングも冒頭にあると良かった。

- ・虚淵氏が“布袋劇”のTVシリーズや映画を作ることになった経緯などの説明があると良かった。コメンタリーは、ストーリーとつかず離れず面白かったが、情報量が多かった。ワイプなどで、今、誰が話しているかが分かると良かった。
- ・マルチメディア展開は、挑戦的な取り組みとして評価すべき。作品の理解が深まるように、もう少し丁寧に手を加えるだけでも、見る人を増やせたのではないか。コアなファンに寄っている編成、編集だったと思う。
- ・ファンの人は満足するかもしれないが、アニメーションの専門チャンネルでないので、映画やドラマなどを楽しみにしている視聴者も興味をもてるフックが、もう少しあったら良かったのではないかと思う。
- ・初めて見る視聴者が興味を持てる説明があれば良かった。作品やアニメのファンではない視聴者への配慮や人形アニメの最前線や世界観にいかに関心を持たせる工夫も今後は必要。

連絡事項： 次回番組審議会は、2022年10月20日（木）11時より開催予定。

以上